

「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」 の実現に向けて

～平成28年度予算概要～（わかりやすい予算説明書）



昭和11年4月 岡谷駅前の祝賀風景

～平成28年度は、岡谷市制施行80周年を迎えます～

長野県 岡谷市

平成28年度予算概要

「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現に向けて ～輝く未来を育む 岡谷市創生予算～

市民のみなさまにおかれましては、岡谷市発展のため、それぞれのお立場で、また、さまざまな場面で、まちづくりにご参加・ご協力をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

岡谷市にとりまして平成28年度は、第4次岡谷市総合計画・後期基本計画の3年目として、厳しい財政状況にあっても、より効果的な施策を効率的に実行するとともに、後期基本計画の計画期間である平成30年度を見据え、更なる成果が求められているほか、岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進により、人口減少に歯止めをかけ、まちに活力と賑わい、そして魅力を生み出す岡谷市の創生を加速させる年であります。これまで、「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現と、後期基本計画に掲げた目標の達成に向けて、新病院建設事業を始めとする6つの重要施策に全力で取り組んでまいりました。市民のみなさまのご理解とご協力をいただき、これらの施設整備はほぼ成し遂げつつあります。

平成28年度の予算編成は、こうした成果を踏まえ、施設の連携と有効活用に一層意を配しながら、人口減少や少子高齢社会に対応した新たなまちづくりを推進するため、「未来の岡谷を育む年」と位置づけ、第4次岡谷市総合計画に掲げた、

- 1 魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち
- 2 とともに支えあい、健やかに暮らせるまち
- 3 自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち
- 4 生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち
- 5 快適に生活できる、都市機能の充実したまち

の5つの基本目標と、「総合計画の推進に向けて」を基調として、予算編成を行ってまいりました。また、重点施策としましては、後期基本計画の重点プロジェクトであります「たくましい産業の創造」、「輝く子どもの育成」、「安全・安心の伸展」の3つを掲げ、事業の着実な推進と、安定した財政基盤との両立を図りながら、市民のみなさまが安全・安心で生きがいを持った生活を送り、明日に夢と希望が持てる施策を展開することといたしました。

経済情勢は、緩やかに回復基調が続いているとされているものの、新興国経済の減速の影響などから先行きは不透明となるなど、依然として厳しい状況が続いておりますが、重要施策の着実な推進と、地方創生という地方が成し遂げるべき課題に的確に対応しながら、市民のみなさまが住むことに誇りと自信、そして愛着を持ち続けることができるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。



市民のみなさまにはまちづくりへ積極的にご参加をいただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

岡谷市長 今井竜五



～目 次～

予算の基礎知識・・・・・・・・・・	1
一般会計予算の状況・・・・・・・・	3
平成28年度予算の 5つの基本目標と主な事業・・・・・	8
まち・ひと・しごと創生・・・・・・・・	26
岡谷市制施行80周年・・・・・・・・	27
岡谷市のあれこれ (岡谷市の基礎知識)・・・・・・・・	28
参考資料・・・・・・・・・・	29
組織・窓口のご案内・・・・・・・・	32



予算の基礎知識 Q & A

Q. そもそも「予算」ってなあに？

A. 予算とは、1年間（4月から翌年3月まで）の収入と支出を前もって見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間にどのくらいの収入（入ってくるお金）があるのか、また行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金（支出）がどのくらい必要なのかを見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。

なお、市の予算においては、収入のことを歳入、支出のことを歳出といいます。

Q. どうやって岡谷市の予算を決めるの？

A. 市長が予算案を作り、市議会の審議と議決によって成立します。

岡谷市役所のそれぞれの担当部署は、市民のみなさまの意見や要望を聞き、「1年間の行政サービス」を検討します。その後担当部署の案について庁内全体で協議・検討を重ねたうえで市長が予算案をまとめ、市議会に提出します。

市民を代表する市議会は、提出された予算案を事業内容や実施体制などの様々な面から審議したうえで議決（議会の意思決定）をします。

Q. 一度決めた予算は変わることはないの？

A. 変わることがあります。それを補正予算といいます。

市議会で決定した予算から事業を実施するうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起きることがあります。例えば、台風や豪雨などの自然災害などにより、緊急にお金を使わなくてはならないときは、予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提出します。この予算のことを「補正予算」といいます。

Q. 予算はなんのために必要なの？

A. 行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。

予算は、歳入と歳出の見積もりとその計画です。1年間の行政サービスを計画的に行うために予算を作成することが必要になります。

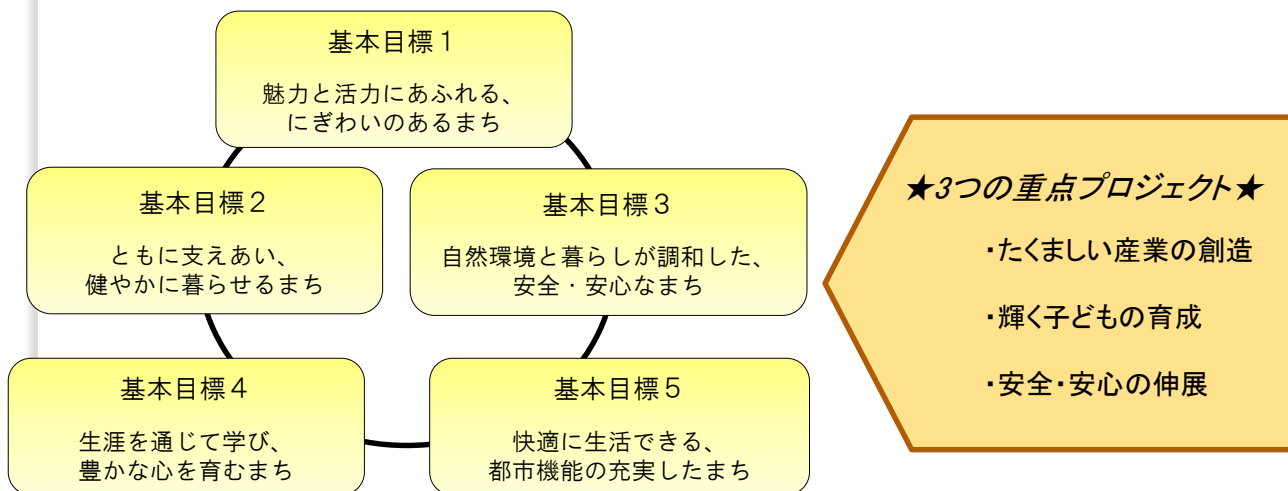
また、予算の範囲内において執行しなくてはならないことから、前もって行政サービスの計画とそれに見合った予算の作成が必要になるのです。

Q. 何を目標として予算を作るの？

A. 総合計画で定めた基本目標を達成するため、予算を作成します。

平成28年度は、第4次岡谷市総合計画・後期基本計画の3年目となります。この総合計画に掲げた5つの基本目標を達成するため、3つの重点プロジェクトを掲げ予算を作成しました。

第4次岡谷市総合計画におけるおかやの将来都市像 「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」



Q. 平成28年度の岡谷市の予算規模は？

A. 一般会計：211億4,800万円（前年度比 2億4,500万円増）
特別会計：72億6,310万円（前年度比 7,490万円増）
企業会計：126億2,698万円（前年度比 48億7,420万9千円減）

【一般会計：211億4,800万円】

教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計です。主な収入は、市税、地方交付税、国・県支出金などです。

【特別会計：72億6,310万円】

特定の目的のための会計で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計と切り離して、その収入・支出を経理する会計です。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ・国民健康保険事業特別会計：58億2,160万円 | ・地域開発事業特別会計：5億9,100万円 |
| ・分収造林事業特別会計：2,700万円 | ・霊園事業特別会計：3,690万円 |
| ・温泉事業特別会計：3,710万円 | ・後期高齢者医療事業特別会計：7億4,410万円 |
| ・湊財産区一般会計：540万円 | |

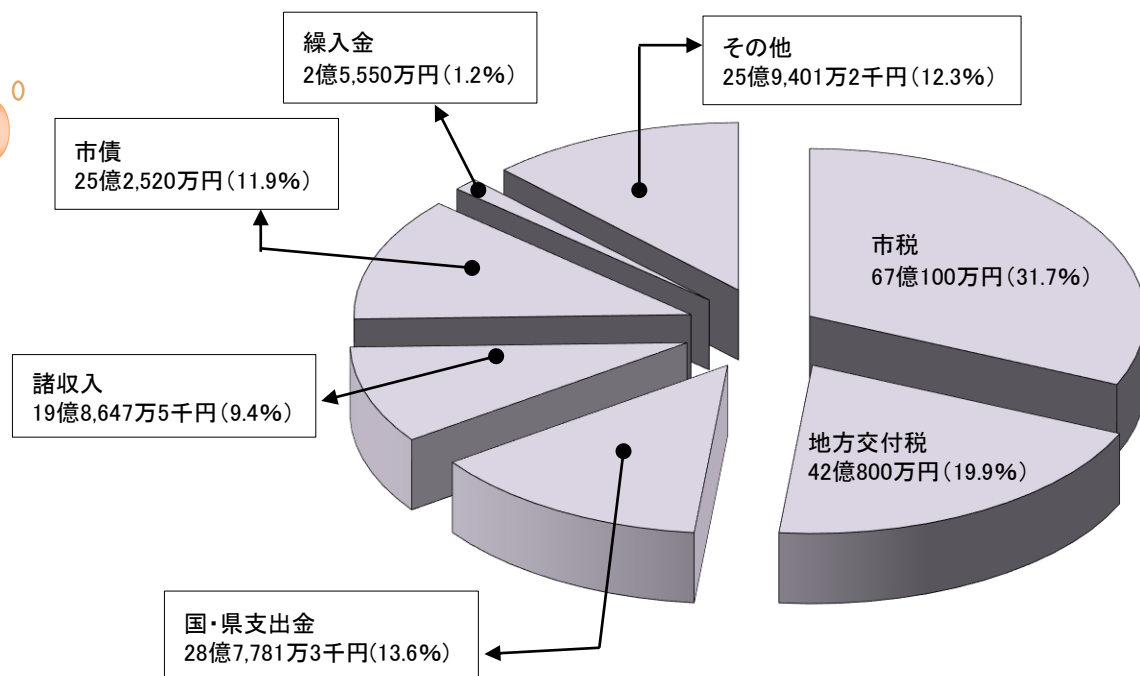
【企業会計：126億2,698万円】

岡谷市には、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計の3つの企業会計があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ・水道事業会計：13億5,602万9千円 | ・下水道事業会計：30億5,595万8千円 |
| ・病院事業会計：82億1,499万3千円 | |

一般会計予算の状況

歳入予算 211億4,800万円



市 税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など	
地 方 交 付 税	全国で一定の行政サービスが行えるよう国から交付されるお金	
市 債	公共施設の整備に伴い金融機関から借りるお金	
国・県支出金	国・県から特定の事業のために交付される補助金など	
諸 収 入	他の科目に分類されない収入で、延滞金や実費徴収金など	
繰 入 金	市が積み立てた基金（貯金）を取り崩してまちづくりに使うお金	
そ の 他	使用料及び手数料	公共施設の使用料や、住民票などの発行手数料
	地方消費税交付金	消費税のうち人口などの状況により国から交付されるお金
	分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じ負担していただくお金
	財産収入	財産の貸付け、売り払いなどにより得るお金

～市税収入の状況～



歳入の30%以上を占める市税については、前年度比20,700万円の減となり、70億円台を計上した平成21年度予算との比較では、9億2,500万円の減となっています。

景気は緩やかに回復が続いていると言われていますが、まだまだみなさまの生活で実感できるところまでは至っていないようです。

歳入予算を、一般家庭の家計簿に例えると…

岡谷市の平成28年度の一般会計予算は、211億4,800万円ですが、数字が大きすぎてなかなか実感できません。そこで、一般家庭の1か月の家計簿に例えてみました。

0

平成28年度一般会計予算
211億4,800万円

市税	67億 100万円
諸収入	19億8,648万円
その他	25億9,401万円
地方交付税	42億 800万円
国・県支出金	28億7,781万円
繰入金	2億5,550万円
市債	25億2,520万円

1か月の収入が20万円の
一般家庭の家計簿

給料	63,372円
諸手当等	43,318円
親からの仕送り等	67,013円
貯金の取崩し	2,416円
金融機関からの借入	23,881円



5年前（平成23年度当初予算）の家計簿は？

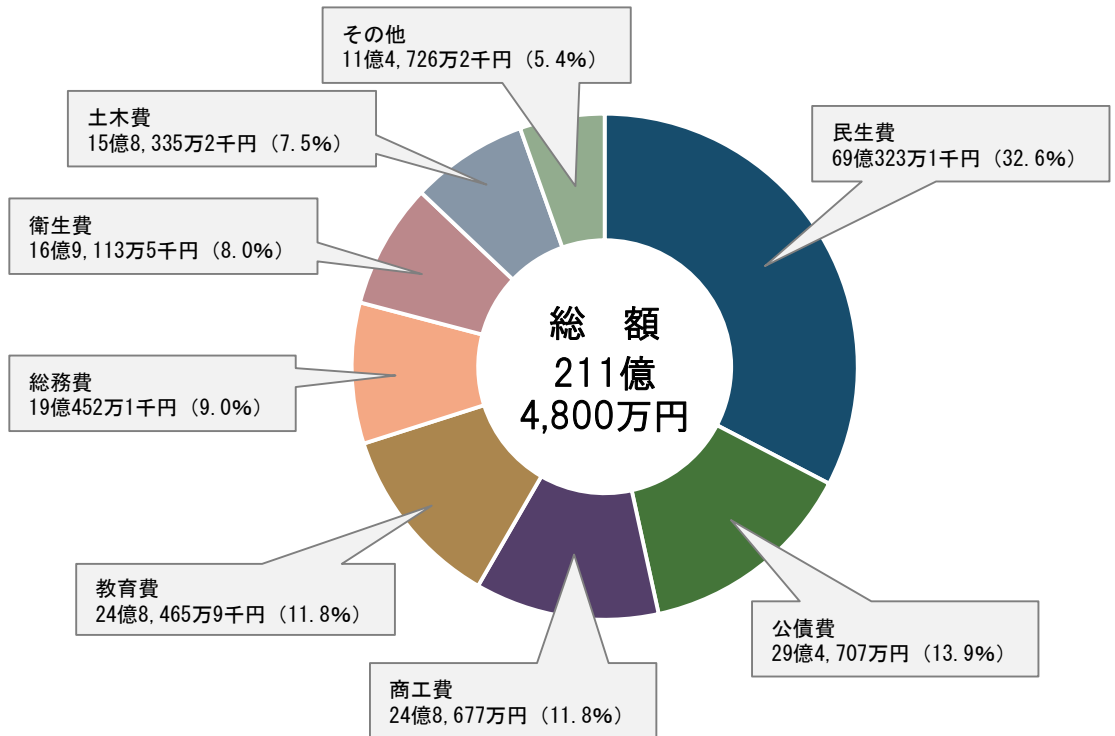


特徴…

給料（市税）が減って、親からの仕送り（国・県支出金、地方交付税）に頼るところが大きく、施設整備などで金融機関からの借入（市債）も増えています。今後は、給料の増（各種事業の展開による経済の活性化）や支出の減（行財政改革）など、支出に占める給料の比率を増やしていくための工夫が必要です。また、貯金の取崩しを減らしてきていますが、残高が減っていますので、将来に向けた積立でも考えていかななくてはなりません。

給料	67,816円
諸手当等	45,697円
親からの仕送り等	64,840円
貯金の取崩し	5,489円
金融機関からの借入	16,158円

歳出予算 211億4,800万円



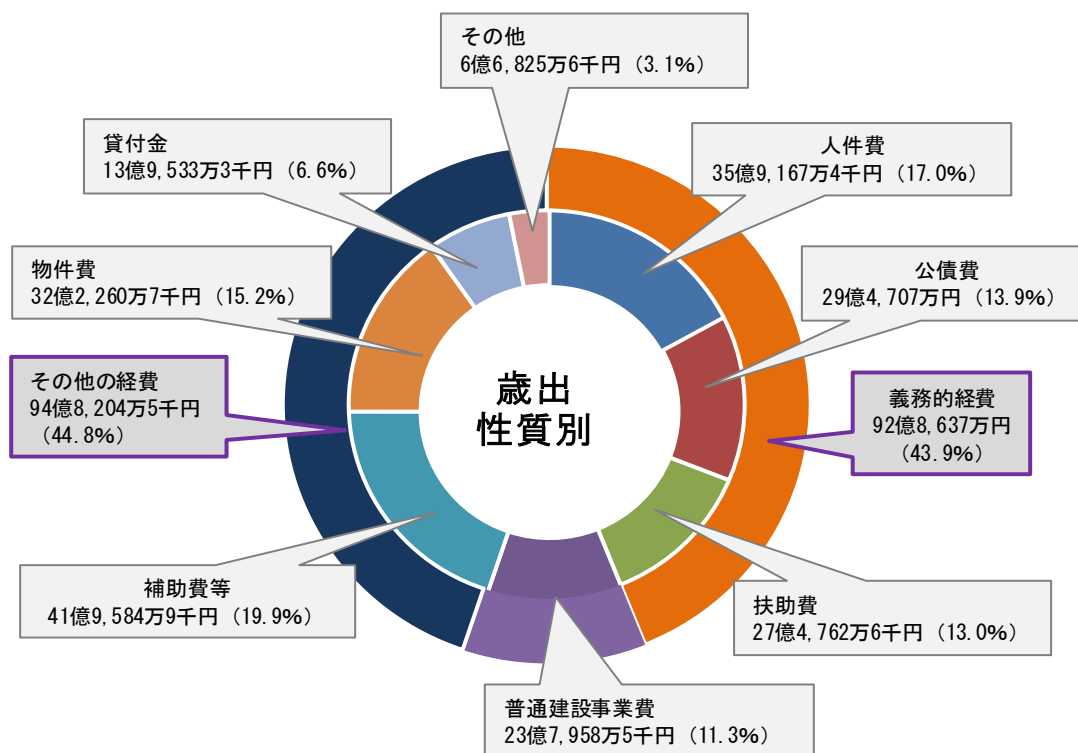
限られた財源（収入）の中で事業の選択と集中を進め、「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現に向け、最も効果的な事業に予算を配分しました。

民生費（輝く子どもの育成）、商工費（たくましい産業の創造）が大きなウェイトを占めています。

総 務 費		市の運営や税金の賦課徴収、戸籍住民票の管理などに使うお金
民 生 費		障がい者や高齢者、子育てなどに使うお金
衛 生 費		保健や環境・衛生の向上、病院への繰出金などに使うお金
商 工 費		工業や商業、観光の振興に使うお金
土 木 費		道路や橋、公園、市営住宅などに使うお金
教 育 費		小中学校、図書館、体育館などの管理運営に使うお金
公 債 費		市債（借金）の返済に使うお金
そ の 他	議会費	市議会の運営に使うお金
	労働費	雇用の促進や勤労者の福祉に使うお金
	農林水産業費	農業、林業などの振興・管理・整備に使うお金
	消防費	消防や救急、消防団の活動などに使うお金
	予備費	自然災害など緊急な対応が必要になったときに使うお金

歳出の性質別内訳は次のようになっています。

歳出を経済的な性質を基準にして分類したものが、次のグラフです。
この分類は、全国のどこの市町村も同じ基準で分類しています。



人件費と公債費、扶助費を合計したものが「義務的経費」と呼ばれています。これは支出が義務的な要素を持っているからです。

「普通建設事業費」は、投資的経費と呼ばれ、支出の効果が資本形成につながり、資産として将来に残るものです。それ以外は「その他の経費」と呼ばれ、以上の3つに分類されています。

人件費		市長や議員などの特別職と一般職員に支払われる報酬や給料
公債費		市債の返済に使う経費
扶助費		高齢者や障がい者等の施設入所や生活保護などの福祉的な経費
普通建設事業費		道路や学校などの建設事業に使う経費
貸付金		預託金など直接現金の貸付けを行うための経費
補助費等		各種団体などへの補助金や負担金
物件費		事務に必要な経費や光熱水費、委託料など
その他の	維持補修費	道路や施設の修繕、維持に使う経費
	積立金	基金（貯金）に積立てを行うための経費
	繰出金	他の会計へ支出するための経費
	予備費	自然災害など緊急な対応が必要になったときに使う経費

歳出予算を、**市民ひとりあたり**で計算すると…

岡谷市の平成28年度の一般会計予算は、211億4,800万円ですが、市民ひとりあたりに対する行政サービスの経費を計算してみました。

平成28年度一般会計予算
211億4,800万円

**市民ひとりあたり
414,300円**

平成28年4月1日現在の人口
51,039人

※外国人人口を含む

平成28年度の一般会計予算、211億4,800万円を人口（51,039人）で割ると、市民ひとりあたり、414,300円の行政サービスを受けている計算になります。

一方、これに対して平成28年度の市税67億100万円を同様に人口で割ると、市民ひとりあたり約131,300円の負担をいただいていることとなります。

**414,300円
の内訳**

市議会の運営経費



3,800円

市役所などの運営



43,400円
(6,100円)

福祉・子育てに



137,000円
(1,700円)

環境衛生の向上に



34,900円
(1,800円)

雇用の確保・拡大



2,100円

農業などの振興に



5,100円
(200円)

産業振興の充実に



50,200円
(1,500円)

道路などまちづくり



50,000円
(19,000円)

消防・救急体制に



10,800円
(100円)

教育の充実に



57,200円
(8,500円)

借金の返済に



18,800円

※各目的に分類されない、
その他の財源補てん的な
市債の返済

緊急時の備えとして



1,000円

※（ ）内市債（借金）の返済額

岡谷市の基幹産業である製造業を軸とした「産業振興の推進」に向けて、企業誘致に向けた取り組みをはじめ、既存企業の活性化や雇用の維持・拡大を進めます。

また、商業・観光・農林業など産業全般にわたり多くの施策を展開し、の減少に歯止めをかけ、強い財政基盤の構築と活力のあるまちづくりを推進します。



【新規】次世代産業

参入環境整備支援事業



担当課		工業振興課
財源	事業費	100万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	100万円

市内企業の次世代成長産業への参入を促進するため、ISO13485（医療分野）とJISQ9100（航空・宇宙分野）の認証取得に必要な経費の一部を補助します。

← 事業名

← 担当課

← 事業に係る経費

事業に係る財源

補助金 … 国や県などからの補助金

借入 … 市債（借金）

使用料等 … 使用者からの利用料等

市 … 市が負担する額

事業の概要

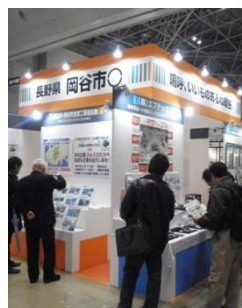
【新規】企業競争力促進事業 （マスカスタマイゼーションの導入支援）



担当課		工業振興課
財源	事業費	5万6千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	5万6千円

市内企業の技術的競争力の維持・向上を図るため、多様なニーズに対応しつつ、コンピューター制御により安価な生産コストを実現するため新たな生産システム「マスカスタマイゼーション」を学ぶセミナーを開催します。

展示会出展事業



担当課		工業振興課
財源	事業費	752万4千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	321万円
	市	431万4千円

大都市圏で開催される展示会のブースを市が確保し、個人企業や中小企業の製品を共同展示することにより市内企業の新規受注の拡大を図ります。

平成28年度は、3つの展示会に出展するほか、諏訪圏ものづくり推進機構が主催する展示会へ市内企業が出展できるよう支援を行います。

【拡充】創業者総合支援事業



担当課		工業振興課	
財源	事業費	38万8千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等	11万5千円	
	市	27万3千円	

市内への新規創業を促し、地域経済の活性化と雇用拡大を図るため、開業後間もない市内中小企業者の総合的な相談体制を強化するほか、経営基盤の確立や、営業開拓、事業拡大、体質強化の支援を行い、地域経済の活性化と雇用拡大を図ります。

商工業振興条例補助金



担当課		工業振興課	
財源	事業費	※1億4,961万円	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	1億4,961万円	

工場移転・新築などに対し、必要な助成を行い、企業の事業拡大や立地促進による商工業の振興、発展を図ります。

※うち補正予定4,430万円

【拡充】中小企業融資制度



担当課		工業振興課	
財源	事業費	14億939万4千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等	2,200万円	
	市	13億8,739万4千円	

市内中小企業の設備投資に対する支援や経営安定化に向けて、保証料の一部を助成するほか、返済負担の軽減を図るため、小規模企業に対する利子補給を行い、市内中小企業の経営の安定化を図ります。

平成28年度は全ての制度資金の貸付利率について△0.2%の見直しを行うなど拡充を図ります。

新技術・新製品等ものづくり
チャレンジ企業応援事業

担当課		工業振興課	
財源	事業費	1,430万円	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	1,430万円	

市内企業が単独または企業グループなどで新技術・新製品の開発を行う場合に、開発などに係る経費の助成を行い、企業の競争力の強化と新たな事業の創出を図ります。



企業誘致や新分野への参入をはじめ、創業・起業支援のための事業を展開するほか、既存企業の活性化を図るため、さまざまな事業を展開していきます。

【拡充】商業等振興補助金



担当課

商業観光課

事業費		595万円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	595万円

既存店舗の改修、空き店舗の改修及び賃借料の助成を行い、まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を図ります。平成28年度は補助対象経費を150万円を超える部分から100万円を超える部分に見直しを行うなど拡充を図ります。

【拡充】

岡谷TMO商業活性化事業



担当課

商業観光課

事業費		770万円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	770万円

平成28年7月にオープンを予定されている(仮称)レイクウォーク岡谷の開店を契機に、地域の商業会と連携して行う販売促進活動に必要な経費を新たに負担し、市内商業会の活性化を図ります。

蚕糸博物館企画展等開催事業
(岡谷市制施行80周年記念事業)

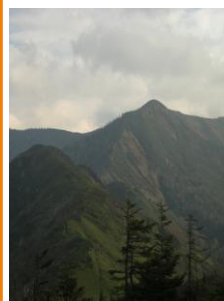
担当課

ブランド推進室

事業費		350万円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	350万円

(博物館常設展示)

シルク文化を通じて岡谷の魅力を発信するため、相撲と絹との関わりを紹介する企画展「ハッキョイ!シルク」や文化服装学院や多摩美術大学の学生の協力による作品展等を開催します。

【新規】信州デスティネーション
キャンペーン負担金

担当課

商業観光課

事業費		49万5千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	49万5千円

信州の「山岳高原」をコンセプトに、平成28年度から平成30年度までに広域的に実施されている誘客宣伝等の取組を推進するため、県・市町村・民間団体と一体となった活動を支援します。

商業や観光の振興は、まちの活気や賑わいを創り出す重要なポイントです。より多くの方が岡谷を訪れ、より多くの方に市内の店舗を利用してもらえるよう、事業を展開していきます。



鳥獣被害軽減対策事業



担当課 農林水産課

財源	事業費	849万円
	補助金	585万円
	借入	
	使用料等	
	市	264万円

農業被害や生活被害の軽減を図るために緩衝帯や電気柵を設置するほか、鳥獣の頭数軽減のために檻、わな、銃器による駆除を継続して実施します。また、ニホンジカの駆除にあたる「捕獲実施隊」に対する支援を行い、農業被害や生活被害の軽減などを図ります。

【新規】養蚕担い手育成事業



担当課 農林水産課

財源	事業費	30万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	30万円

繭生産を行う市内団体に対し、桑の苗や養蚕資材などの購入に必要な経費の一部を補助することにより、市内での繭生産量の確保と、養蚕文化の継承を図ります。

いきいきマイファーム事業



担当課 農林水産課

財源	事業費	54万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	10万8千円
	市	43万2千円

定年退職者や余暇を活用したい方を対象に、農業の研修会を開催し、担い手の育成、拡大につなげるとともに、遊休農地の解消、地産地消の推進を図るほか、県外から岡谷市に移住を希望する方を対象に「体験農園コース」を引き続き開催し、農業を通じた移住の推進を図ります。

林道整備事業



担当課 農林水産課

財源	事業費	3,375万円
	補助金	1,030万円
	借入	2,100万円
	使用料等	
	市	245万円

災害や土砂流出を未然に防ぐため、林道の舗装工事や橋梁の安全点検などを定期的に行います。平成28年度は、林道高尾山線及び林道常現寺線の舗装工事を行います。

農地や山林は、食糧や木材の生産だけでなく、自然や水源の保全など大変多くの機能を持っています。また、災害を防ぐ観点からも、山林や水路などの維持管理は非常に重要です。また、養蚕文化の継承に対する支援も本年度より取り組んでいきます。



若者未来の就職応援事業



担当課

工業振興課

事業費		34万2千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	34万2千円

大学生等のインターンシップを促進するため、実施企業の必要経費の一部を補助するとともに中高生のキャリアアップ教育を支援するための講演会を行うほか、若年者等を対象とした就職説明会を開催し、企業情報の提供と就職支援を行います。

障がい者等雇用促進事業



担当課

工業振興課

事業費		54万円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	54万円

障がい者等の就労移行や雇用を促進するため、企業での就労体験やインターンシップを実施した企業に請け入れに必要な経費の一部を助成するほか、障がい者を雇用した企業に奨励金を交付し、障がい者に対する雇用を総合的に支援します。

【拡充】転職・移住者
就職説明会開催事業

担当課

工業振興課

事業費		12万円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	12万円

求人・求職のミスマッチを解消するため、転職希望者や移住者を諏訪地域などの企業が面談する機会を提供するとともに、UIJターンの促進を図るため、会場内に新たに住宅相談コーナーを設置することにより相談体制の充実を図ります。

【新規】岡谷リサーチお試し
宿泊事業

担当課

企画課

事業費		10万円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	10万円

首都圏での移住・交流イベントへの参加などを通じて、本市に関心を持った方が、市内にお試し宿泊をする場合に宿泊経費の一部を助成し、都市部から本市への移住のきっかけを創出します。



働く場の確保は、生活基盤の維持のために不可欠なものです。商工業や農林水産業の振興事業とも連携し、市民のみなさまの安定した生活の確保を支援していきます。また、移住・定住へと繋がるような支援にも取り組んでいきます。

少子高齢化が進むなかで、社会保障などの福祉施策の充実が重要な課題となってきました。市民のみなさま一人ひとりが、将来にわたって健康で快適に、豊かな生活を送ることができるよう、保健医療の充実、子育て支援、福祉の充実を掲げ、さまざまな施策を推進するほか、第2次岡谷市健康増進計画に基づく事業を積極的に実施します。



子ども医療費給付事業



担当課

医療保険課

財源	事業費	1億3,930万6千円
	補助金	2,783万4千円
	借入	
	使用料等	
	市	1億1147万2千円

中学校3年生までの子どもがいる家庭の経済的負担の軽減による子育て支援の推進、充実を図ります。

【新規】出会いの場創出事業



担当課

社会福祉課

財源	事業費	100万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	100万円

市が共催・後援する婚活イベントやセミナーのPRにかかる経費の一部を負担し、出会いの場を創出することにより、結婚から定住、人口増加の促進を図ります。

岡谷市看護専門学校運営事業



担当課

看護専門学校

財源	事業費	9,918万7千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	3,257万6千円
	市	6,661万1千円

県内で唯一の全日制2年課程の看護専門学校として、准看護師が看護師資格を得るために必要な学びの場を確保するとともに、地域の看護師の養成と確保を図ります。

平成28年度は旧塩嶺病院の病棟解体に伴う水道配管の移設や屋外キュービクルなど施設環境の整備を行い、学生の安全の確保と施設の充実を図ります。

【新規】

大学等進学資金利子補給事業

平成27年度 岡谷市新入社員激励会



担当課

企画課

財源	事業費	50万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	50万円

大学等に進学する際の初年度納付金を対象に、諏訪信用金庫が新設する教育ローンを借り入れた保護者に対して、利子の一部を補給し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

また、卒業後に帰岡して引き続き居住した場合には、利子補給を上乗せすることによりUターンの促進を図ります。

医師確保対策事業



担当課

健康推進課

事業費		※ 500万円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	500万円

県外から新たに転入し、市内の指定医療機関に従事する方に対し就業支援を行い、医師確保及び地域医療体制の充実を図ります。

※全額補正予定

【拡充】

子育て世代包括支援事業



担当課

健康推進課

事業費		6,314万8千円
財源	補助金	885万9千円
	借入	
	使用料等	70万円
	市	5,358万9千円

既存の母子保健相談支援や産前・産後サポートに加え、保健センターを改修し相談場所を設けるなど妊産婦の個別相談の拡大をするとともに、助産院等での母体のケアや授乳指導、育児相談等にかかる経費の一部助成し、妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない支援を行います。

【拡充】

岡谷市不妊・不育治療助成事業



担当課

健康推進課

事業費		277万9千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	277万9千円

妊娠を希望される夫婦に対し、妊娠しやすい年代に治療開始に踏み切れるよう、一般不妊治療（タイミング療法、人工授精）に対して、引き続き市で単独助成を行うほか、治療費が高額となる特定不妊治療及び不育治療は県制度に上乗せして助成を行うなど、補助率及び限度額の拡充を図ります。

【新規】子育てママの

おしゃべりサロン事業



担当課

子ども課

事業費		4万4千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	4万4千円

親支援に関する資格を持つ保健師などの職員を中心に、子育て中の母親を対象とした茶話会等を開催し、母親同士の情報交換の場を提供するとともに親支援のアドバイスを行うことにより、母親の育児不安を軽減を図ります。



健康は、充実した生活を送るための基本です。市民のみなさまの健康の維持・増進に向け、さまざまな施策を展開していきます。

また、「輝く子どもの育成」は、平成28年度の重点施策のひとつです。安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを図っていきます。 —14—

「輝く子どもの育成」は、平成28年度の重点施策のひとつです。安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと、将来を担う子どもたちの、たくましく、健やかな成長を願い、施策の充実・拡大を図っていきます。



【新規】地域型保育事業



担当課		子ども課	
財源	事業費	1,108万8千円	
	補助金	7,906千円	
	借入		
	使用料等		
	市	318万2千円	

岡谷市民病院内で運営されている託児施設を、地域型保育給付の対象となる小規模型事業内保育事業として認可することにより、病院職員の確保につなげるとともに3歳未満児の保育需要に対応します。

保育園整備事業



担当課		子ども課	
財源	事業費	2億3,900万円	
	補助金		
	借入	2億1,510万円	
	使用料等		
	市	2,390万円	

保育環境の整備、保育サービスの充実を図るため、平成26年度に地域開発事業特別会計で取得した東堀保育園用地の持ち替えを行うほか、整備方針に基づく造成工事を行います。

【拡充】通所訓練施設まゆみ園運営事業



担当課		子ども課	
財源	事業費	729万5千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	729万5千円	

発達特性のある児童を就園前から学齢期まで継続的に支援するため、まゆみ園の運営方式を指定管理から直営に変更して、発達段階に応じた専門的な訓練・指導を行うとともに、発達支援施設の設置に向けて連携・支援体制づくりを行います。

【拡充】発達支援事業



担当課		子ども課	
財源	事業費	717万2千円	
	補助金	317万7千円	
	借入		
	使用料等		
	市	399万5千円	

発達面での個別の関わり等を必要とする乳幼児に対し、あそびなどを通して健やかな発達を促すためのフォロー教室（あそびの教室）を開催するとともに、保育士等の障がい児への対応の向上を目的とした専門家による指導を実施し、「発達支援施設」での事業展開を想定しながら、発達障害の早期発見、早期支援の拡大を図ります。

福祉施策を中心とした社会保障の充実、安全で安心な日常生活を送るうえで欠かせません。第3次地域福祉計画、第7次高齢者福祉計画、第4次障がい者福祉計画などの2年目として、各種事業を積極的に実施し、人にやさしいまちづくりを進めてまいります。



【新規】

「ほっとサロン」モデル事業



担当課		介護福祉課	
財源	事業費	55万3千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等	55万3千円	
	市		

市営住宅加茂団地の集会所を活用し、高齢の居住者を対象とした体操教室や茶話会など、高齢者が活動する場を創出し、新しい介護予防・日常生活支援総合事業のモデル事業として実施体制の整備をしていきます。

【新規】生活支援・介護予防の

体制整備事業



担当課		介護福祉課	
財源	事業費	800万円	
	補助金		
	借入		
	使用料等	800万円	
	市		

新たに生活支援コーディネーターを配置するとともに、サービス事業者として想定される団体等による協議体を設置することにより、ボランティアなど生活支援・介護予防の担い手となる地域資源の開発など新しい介護予防・日常生活支援総合事業の体制づくりを進めます。

【新規】認知症施策推進事業



担当課		介護福祉課	
財源	事業費	1,706万8千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等	1,706万8千円	
	市		

医療・介護の専門家による認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人への早期対応を行います。また、認知症地域支援推進員を配置し、両者が連携しながら認知症の人が住み慣れた地域で自立して生活できるよう、地域の実態に応じた認知症施策を推進します。

【拡充】

生活困窮者自立支援事業



担当課		社会福祉課	
財源	事業費	696万5千円	
	補助金	512万5千円	
	借入		
	使用料等		
	市	184万円	

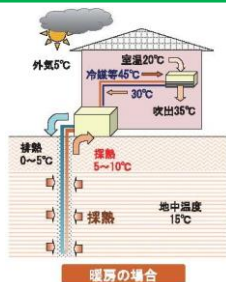
生活保護に陥る前の自立支援を強化するため、「岡谷生活・就労支援センター(まいさぽ岡谷)」による相談、住宅確保のための給付金支給などを実施し、自立した生活ができるよう支援を行うほか、平成28年度から新たに引きこもりなどを対象とした就労準備支援事業を実施し、状況に応じたきめ細かな対応による支援を行います。



大量生産・大量消費を繰り返す社会システムにより、地球温暖化や資源の枯渇、森林の破壊など、地球規模での環境問題が数多く引き起こされ、自然と暮らしを守る取り組みが急務となっています。

岡谷市においても、平成18年7月に経験した豪雨災害の教訓を活かし、さまざまな防災対策を進めるとともに、日々の暮らしと自然とが調和した、環境にやさしい市民生活を推進し、快適な生活環境と安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

再生可能エネルギー等 活用補助金



担当課 市民環境課

財源	事業費	395万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	395万円

第3次岡谷市環境基本計画の地球温暖化防止施策として、太陽熱利用設備、地中熱利用設備、雨水貯留施設の設置に必要な経費の一部を助成し、地球温暖化防止や資源の有効活用、環境負荷低減など、環境保全の推進を図ります。

諏訪湖ヒシ除去事業



担当課 市民環境課

財源	事業費	15万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	15万円

諏訪湖に繁茂するヒシを除去することにより、諏訪湖の汚濁防止、浄化を推進し、自然環境と暮らしが調和したまちづくりを推進します。

【拡充】硬質プラスチック・小型家電 リサイクル試験回収実施事業



担当課 市民環境課

財源	事業費	マンパワー
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	

燃えるごみとして扱っている硬質プラスチックと、平成25年4月に施行された「小型家電リサイクル法」を受けて、ご家庭の電気・電池で動く製品の効率的・効果的な回収方法等の検討に向けて、試験回収を実施し、廃棄物の発生抑制とリサイクルを促進します。

【新規】草・剪定枝等資源化事業



担当課 市民環境課

財源	事業費	63万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	63万円

ごみ処理施設が広域化となることから草や剪定枝等の持込について、受け入れを行う預かり所を設置(平成28年12月予定)することにより、利便性の向上を図るとともに、堆肥化やチップ化による資源化を行い、廃棄物の発生抑制とリサイクルを促進します。

湖周地区ごみ処理施設 整備負担金



担当課		市民環境課
財源	事業費	1億2,452万2千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	7,624万1千円
	市	4,828万1千円

湖周地区ごみ処理施設整備に必要となる事務費のほか、新施設建設に伴う建設工事などの経費を負担し、平成28年12月の本格稼動に向けた事業の推進を図ります。

湖周地区ごみ処理施設 整備関連事業



担当課		市民環境課
財源	事業費	673万9千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	673万9千円
	市	

湖周地区ごみ処理施設整備にあたり、新施設建設まで、仮設ごみ預かり所を開設するほか、近隣焼却施設までのごみの運搬や、焼却した灰などの運搬を行います。

林業振興事業



担当課		農林水産課
財源	事業費	1,116万8千円
	補助金	30万円
	借入	
	使用料等	
	市	1,086万8千円

民有林の森林整備や保全に対し補助を行い、環境整備を図るとともに、水源かん養機能の維持の他、災害や土砂流出の防止等による安全な森林づくりを推進します。

防犯灯LED化普及促進事業



担当課		市民環境課
財源	事業費	50万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	50万円

犯罪のない安全・安心なまちづくりの推進に向けて、各区が行う防犯灯の設置経費に対する助成を行います。特に防犯灯のLED化にあたっては助成額の加算を行い、環境負荷の低減、温暖化対策の推進及び、維持管理等の経費削減を図ります。

環境保全は、地道な取組みと日々の積み重ねが大変重要です。岡谷の豊かで恵まれた自然環境を再認識し、未来の子どもたちが安心して暮らせる地球環境を残していきましょう。



平成18年7月豪雨災害は、わたしたちの生活に大きなつめ跡を残しました。この教訓を忘れることなく、市民のみなさまをはじめ、地域、関係機関、行政がそれぞれの役割を果たし、安全の確保と安心した生活が送れるよう、事業を展開していきます。



【新規】平成18年7月豪雨災害 10年伝承事業



担当課

危機管理室

財源	事業費	85万3千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	85万3千円

平成18年7月豪雨災害から10年の大きな節目に、災害から得た教訓や知識を風化させることなく後世に伝承するため、「岡谷市防災・減災基本条例」を施行するとともに、災害を振り返るシンポジウムやパネル展などを開催し、防災・減災に対する意識の醸成を図ります。

【新規】川岸地区 山林火災復旧事業



担当課

農林水産課

財源	事業費	5,750万8千円
	補助金	1,824万8千円
	借入	1,870万円
	使用料等	1,725万円
	市	331万円

山林火災で被災した森林の早期復旧を推進するため、林業専用道大洞線を開設するとともに、復旧事業を行う「新倉山復旧協議会」に必要な経費に対して無利子で貸し付けを行うことにより、円滑な事業の推進を図ります。

住宅防災・減災事業



担当課

都市計画課

財源	事業費	336万円
	補助金	219万6千円
	借入	
	使用料等	
	市	116万4千円

昭和56年以前に建設された個人住宅等の耐震診断及び耐震補強にかかる経費の一部を補助し、安全・安心な暮らしの実現に努めます。

【耐震診断事業】

・木造(市の委託事業により全額公費負担)

【耐震改修補助金】

診断士による診断の結果、倒壊の恐れなど危険性の高い住宅について補強指導を行い、改修要望のあった住宅に対して助成を行います。

補助率:対象工事費の1/2、限度額:600千円

【新規】小学校校舎等解体事業



担当課

教育総務課

財源	事業費	5,400万円
	補助金	
	借入	4,050万円
	使用料等	
	市	1,350万円

学校統合により閉校となる岡谷小学校周辺敷地の安全対策を講じるため、校舎敷地を5ブロックに分け、平成28年度から平成29年度の2か年に亘り段階的に建物の解体を行います。



少子高齢化や高度情報化・国際化、ライフスタイルの変化など、社会を取り巻く状況は、予想をはるかに超えるスピードで変化し、市民のみなさまの日常生活に大きな影響を与えています。このような時代の変化に的確に対応し、すべての人が、住み慣れたまちで生きがいのある快適な生活を送ることができるよう、「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」を掲げ、市民と行政との協働によるまちづくりを推進します。

【新規】

第72回国民体育大会冬季大会 アイスホッケー競技会開催事業



担当課 冬季国体推進室

財源	事業費	1,540万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	405万円
	市	1,135万円

平成29年1月にやまびこスケートの森アイスアリーナで開催を予定している第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会について、冬季国体推進室を新設し、競技団体や県、軽井沢町などと連携する中で開催します。

【新規】

学童クラブ室活用モデル事業



担当課 生涯学習課

財源	事業費	マンパワー
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	

学童クラブ施設を有効活用するため、平日の午前中に、放課後居場所づくり事業スタッフの活動などの地域ボランティアへクラブ室を貸し出すモデル事業を実施します。

かがやけ おかやキッズ 体力アッププログラム事業



担当課 スポーツ振興課

財源	事業費	172万8千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	172万8千円

社会状況の変化に伴う子どもの体力低下に対応するため、小学校1・2年生の体育の授業に専門指導員を派遣し、基礎的な運動能力の向上を図るほか、学校職員などを対象とした指導者講習会を開催し、体育授業などの具体的な指導方法、児童への継続的かつ質の高い指導体制の充実を図ります。

【新規】学校統合支援事業



担当課 教育総務課

財源	事業費	854万3千円
	補助金	16万1千円
	借入	
	使用料等	
	市	838万2千円

学校統合により遠距離通学となる児童(通学距離が概ね2Kmを超える小学1・2年生)を対象に通学バスを運行するほか、児童数が増加するクラス状況に応じて、市独自の教員の加配を行い、統合後の円滑なクラス運営を支援します。

生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち

学校教育は、未来を担う子どもたちを育成する場として、知識、技能、態度、意欲などの習得と豊かな人間性を育てるために重要な役割を担っています。子どもたちが新しい時代を切り拓く創造性豊かで、人として自立できる力を身に付けていけるよう、教育内容、教育施設や設備の充実、教育環境の整備などを進めます。



小中学校大規模改修事業 (岡谷南部中学校改修工事)



担当課		教育総務課
財源	事業費	2,161万2千円
	補助金	
	借入	1,610万円
	使用料等	
	市	551万2千円

児童生徒数の変化により教室の増設等が必要な小中学校の改修等を年次的に実施し、児童・生徒の安全確保と教育環境の整備を図ります。平成28年度は小学校の統合に伴い、生徒数が増加する見込である岡谷南部中学校において改修を行います。

小中学校耐震改修事業 (岡谷西部中学校耐震改築工事)



担当課		教育総務課
財源	事業費	9億4,333万2千円
	補助金	
	借入	9億350万円
	使用料等	
	市	3,983万2千円

耐震診断結果に基づき、耐震補強が必要とされる小中学校の改修・改築を年次的に実施し、児童・生徒の安全確保と教育環境の整備を図ります。平成28年度は岡谷西部中学校管理教室棟耐震改築とともに、県道岡谷川岸線拡幅工事に併せ、第2体育館及びプールの改築工事を行います。(平成29年4月共用開始予定)

【新規】

活力ある学校づくり推進事業



担当課		教育総務課
財源	事業費	160万円
	補助金	160万円
	借入	
	使用料等	
	市	

統合校となる岡谷田中小学校及び神明小学校において、市内企業と連携したものづくり体験学習や製糸について学ぶふるさと教育のほか、統合2校の児童間交流などを実施し、統合を契機とした魅力と活力ある学校づくりを推進します。

【新規】

魅力ある学校づくり交付金



担当課		教育総務課
財源	事業費	301万8千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	301万8千円

学校統合を契機とする魅力ある学校づくりを市内全小中学校に波及させるため、各校が計画する総合的な学習の時間に対して、交付金を支出するとともに、特色ある事例については事例発表などを通じて市内全小中学校で共有を図ります。

【新規】創作オペラ御柱

開催事業
(岡谷市制施行80周年記念事業)



担当課 ブランド推進室

財源	事業費	1,000万円
	補助金	
	借入	
	使用料等	1,000万円
	市	

御柱祭に合わせて、地域住民との協働で実施している『創作オペラ御柱』を公演するために必要な経費の一部を補助することにより、地域文化の発信と世代間交流を促進を図ります。

【新規】美術考古館特別企画展

等開催事業
(岡谷市制施行80周年記念事業)



担当課 美術考古館

財源	事業費	135万3千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	94万4千円
	市	40万9千円

市民に質の高い芸術に親しんでもらうため、本市出身の現代美術作家根岸芳郎を紹介する企画展や本市及び姉妹都市である岡山県玉野市・群馬県富岡市で活躍する芸術家3名による展示会とワークショップのほか東伊豆町と合同で、つるし雛展を実施します。

郷土の野外彫刻を活用した
地域交流事業



担当課 美術考古館

財源	事業費	6万6千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	6万6千円

市民に本市出身の彫刻家、武井直也の作品に親しんでもらうため、小中学生及び高校生や市民とともに、市内に点在する作品の鑑賞とクリーニングを行うプログラムを実施します。

市民のみなさまが、芸術や地域の文化、歴史などに身近に接し、特色ある芸術文化活動を活発に行うことができるよう、より質の高い、さまざまな展覧会を開催し、文化を核にしたまちづくりを推進します。



地域の特性に応じた良好な市街地形成と居住環境の向上、地域の活性化を図るため、都市基盤の整備、住環境の整備を進めるとともに、都市と自然とが調和した、快適で住みやすいまちづくりを推進していきます。



都市(まち)づくり推進事業



担当課

都市計画課

事業費		400万円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	5万7千円
	市	394万3千円

これまで取り組みを進めてきたまちづくり講座などにより、市民活動グループが形成されてきたため、協働によるまちづくりの更なる醸成に向けて、人材育成や団体などへの相談、助言、学習機会の提供等により、市民と行政の協働のまちづくりの更なる推進を図ります。

【新規】都市計画に関する基礎調査事業



担当課

都市計画課

事業費		478万円
財源	補助金	149万4千円
	借入	
	使用料等	
	市	328万6千円

都市計画に関する現状を把握し、今後の施策に活用するため、都市計画区域における人口・産業・土地の利用状況などについて調査を行います。

【新規】立地適正化計画策定事業



担当課

都市計画課

事業費		409万1千円
財源	補助金	200万円
	借入	
	使用料等	
	市	209万1千円

居住・医療福祉・商業・公共交通などすべての機能を対象に、市内全域を見渡した立地計画を策定し、コンパクトシティの実現に向けた取組を推進します。

【新規】新和田トンネル有料道路利用者負担軽減事業



担当課

都市計画課

事業費		602万7千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	482万円
	市	120万7千円

県と協働により、特に経済的負担の大きい通勤・通学・通院者を対象に「新和田トンネル有料道路」の時間帯割引券を販売し、利用者の負担軽減を図ります。

地域幹線道路整備事業



担当課

都市計画課

財源	事業費	4,100万円
	補助金	
	借入	3,690万円
	使用料等	
	市	410万円

県が行う岡谷川岸線拡幅事業と平成30年度を計画期間として、岡谷駅前の岡谷停車場線の電柱地中化事業に対する地元負担金を負担し、地域幹線道路の整備を促進します。

【岡谷川岸線】

待張川交差点～川岸小学校(400m)

【岡谷停車場線】

岡谷駅前(190m)

道水路等新設改良事業



担当課

土木課

財源	事業費	3億530万円
	補助金	1億1,397万5千円
	借入	1億7,170万円
	使用料等	
	市	1,962万5千円

幅員4m以上の生活道路整備を基本に、道路の新設、現道の拡幅、視距改良、交差点改良、道路側溝・水路等排水施設整備、舗装の改修などを行い、安全で快適な道路環境を構築します。

岡谷駅前地区

基本計画調査検討事業



担当課

企画課

財源	事業費	650万円
	補助金	96万円
	借入	
	使用料等	
	市	554万円

平成27年度の調査結果に基づき、さらに精度を上げた調査・検討を行い、事業化の可能性や駅前地区のあり方について、引き続き検討を行います。

【新規】諏訪湖周

サイクリングロード整備事業



担当課

都市計画課

財源	事業費	マンパワー
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	0円

諏訪湖周の周遊・滞在型観光を推進するため、県・諏訪市・下諏訪町との連携により、観光資源が集積する諏訪湖周への自転車道路の整備に向け、調査・検討を行います。



道路などの交通網の整備は、普段の生活ばかりでなく、地域経済や地域間交流を支える重要な社会基盤です。市民のみなさまの要望も伺いながら、生活道路を含めた、きめ細かな整備を進めていきます。

平成28年度は、第4次岡谷市総合計画後期基本計画の3年目となります。これまで、新病院建設事業や新消防庁舎建設事業などの6つの重要施策に全力で臨み、施設整備は、ほぼ成し遂げつつあります。こうした成果を踏まえ、本年度は「未来の岡谷を育む年」として位置づけ、「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現に向けて、次のような事業も展開し、総合計画の着実な推進を図ります。



【新規】総合戦略推進事業



担当課		企画課	
財源	事業費	19万4千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	19万4千円	

平成27年度に策定した「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策・事業の効果を検証するため、有識者会議を開催し、数値目標の達成状況などを検証します。

【新規】NHK公開番組

「新・BS日本のうた」開催事業
(岡谷市制施行80周年記念事業)



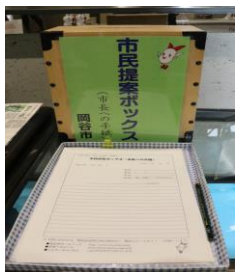
担当課		企画課	
財源	事業費	マンパワー	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市		

市制施行80周年を記念し、NHKの公開収録番組である「新・BS 日本のうた」をカノラホールで開催し、節目となる年を盛り上げます。

収録日：平成28年11月17日(木)

【新規】

「私の声!直送便」事業



担当課		秘書広報課	
財源	事業費	マンパワー	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市		

公共施設に「市民提案ボックス」を常設するとともに、9月を市民提案強化月間とし、各区の公会所等にも1ヶ月間、「市民提案ボックス」を設置します。また、カルチャーセンターや公民館で開催する子育て支援学級等の受講者にアンケート調査を実施し、市政の満足度など子育て世代の意見を把握し、今後の市政反映につなげていきます。

【拡充】ふるさと寄附金

寄附促進事業



担当課		企画課	
財源	事業費	4,122万9千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	4,122万9千円	

ものづくりやシルクなど本市に縁のある返礼品を寄附者に贈呈するとともに、返礼品の拡充を行うことにより、ふるさと寄附金の増収と地域産業の活性化を図ります。

まち・ひと・しごと創生に向け動きだしています。



2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進むことが予想され、特に地方においては、人口流出や少子高齢化による地域経済の縮小・衰退に直面しており、人口減少の克服と魅力ある地方の創生は喫緊の課題となっています。こうした課題に対し、岡谷市では国と歩調を併せて、「岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に示しました2060年の将来展望人口4万人台の維持と、「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる4つの基本戦略に基づき、創意工夫により、本市の特色を活かした事業を展開し、岡谷市の創生を加速させたいと考えています。

【岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略4つの基本戦略】

I たくましい産業創造戦略

～しごとをつくり、安定した雇用を創出する～

戦略目標 粗付加価値額

製造業：1,400億円(1月～12月)

全産業従業者数：23,000人

II 岡谷ブランド発信戦略

～魅力を発信し、

新しいひとの流れをつくる～

戦略目標 観光客数：490,000人

社会動態の増減：▲70人

III 輝く子ども育成戦略

～結婚・妊娠・出産・子育て・教育の

希望をかなえる～

戦略目標 出生数：385人

子育てに対する市民満足度：3.5/5.0点

IV 安全・安心の伸展戦略

～活力ある安全・安心なまちをつくる～

戦略目標 健康寿命：延伸

避難行動要支援登録者の個別計画の作成率：
100.0%

○平成27年度岡谷市の取組みは・・・

- ・岡谷市人口ビジョンの策定(2060年までの展望)
- ・岡谷市総合戦略の策定(平成31年度までの5年間)
- ・国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用した事業の実施
※平成26年度補正予算対応
- ・国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援のための交付金(地方創生先行型交付金)」
を活用した事業の実施
※平成27年度補正予算対応



魅力あふれる地方の創生を加速化させるため

○平成28年度岡谷市は・・・

国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援のための交付金(地方創生加速化交付金)」を活用し、平成28年度に下記事業の実施。 ※平成27年度補正予算対応

- ・岡谷ブランド発信・展開戦略事業 1,591万6千円
- ・転職希望者等UIターン・企業誘致推進事業 798万5千円
- ・諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業 9,381万8千円【広域連携】
- ・移住交流(地域しごと支援センター)推進事業 122万7千円【広域連携】
- ・外国人観光客を主なターゲットとする信州シルクロードを核とした広域観光連携事業
1,510万6千円【広域連携】
- ・DMO設立に向けたビーナスラインを基軸とした広域観光事業 53万2千円【広域連携】
- ・御柱祭の知名度活用による諏訪エリアの長期滞在型観光創生事業 600万円【広域連携】



岡谷市は市制施行80周年を迎えます。



岡谷市制が施行されたのは、昭和11年(1936年)4月1日です。岡谷市の前身である平野村の当時の人口は、約54,000人で、日本最大の村でした。村が町制を経ず市制施行したのは長野県では唯一であり、全国でも10例のみでした。

平成28年度は、岡谷市制施行80周年を迎えることから、記念式典・講演会等の開催をはじめ、以下の各種イベントにおきましても80周年を記念した事業と位置づけ、節目となる年を市民の皆様とともに、盛り上げていきたいと考えています。



市制施行80周年記念式典

日時：平成28年4月23日(土) 午前10時

場所：カノラホール 内容：記念式典・記念公演



NHK公開番組「新・BS 日本のうた」開催事業(再掲)

日時：平成28年11月17日(木)

場所：カノラホール



創作オペラ御柱開催事業(再掲)

日時：平成28年11月27日(日)

場所：カノラホール



博物館常設展示

蚕糸博物館企画展等開催事業(再掲)

○企画展「キヌコレ OKAYA SILK-COLLECTION」

○企画展

「シルクのまちから いと・おり・そめ -タビ・テキスタイル2016-」

○企画展「ハッキヨイ!シルク」



美術考古館企画展等開催事業(再掲)

○根岸芳郎展「Printing 1979-2015」(仮称)

○「姉妹都市アーティスト展

-伊東美和・内尾和正・大竹夏紀-(仮称)



公園遊具更新事業(※平成27年度補正予算)

○鳥居平やまびこ公園遊具の更新

「岡谷市」のあれこれ（岡谷市の基礎知識）

Q 岡谷市っていつから市になったの？



A. 岡谷市制が施行されたのは、昭和11年4月1日です。

岡谷市の前身である平野村の当時の人口は、約54,000人で、日本最大の村でした。また、のちに合併する湊、川岸、長地村を合わせると約76,600人になりました。ちなみに岡谷市は、長野県内において、長野市、松本市、上田市、について4番目に市制が施行されています。

いまいごろう

なお、岡谷市の初代の市長は、「今井梧楼」さんで私で8代目となります。また、平成28年度は市制施行80周年を迎えます。

Q 岡谷市の面積はどれくらい？

A. 岡谷市の面積は85.10km²です。

長野県全77市町村において、面積ランキング1位は、松本市(978.47km²)で岡谷市は48位となっています。ちなみに岡谷市は、長野県19市の中で最も面積が小さい市となっています。

また、岡谷市の標高は、市役所で779.2mです。なお、一番低いところは、諏訪湖で759.3m、一番高いところで鉢伏山頂で1,928.5mとなっており、標高差はなんと1,169.2mもあることになります。

※面積は国土交通省国土地理院が公表する前年度10月1日現在における当該市町村の面積を基にしております。

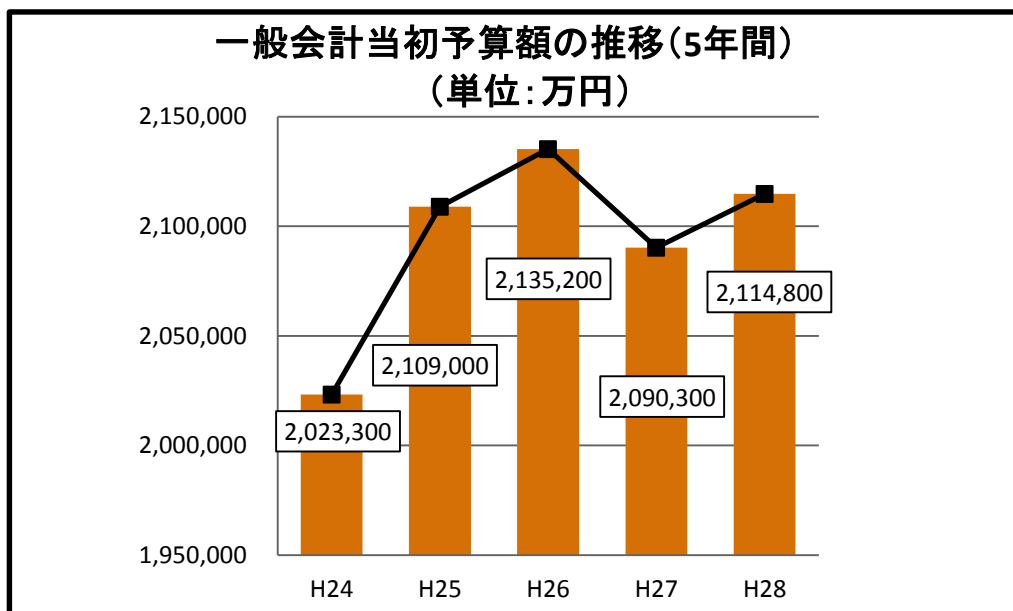
Q 岡谷市の姉妹都市はどこですか？

A. 岡谷市の姉妹都市は、群馬県富岡市、岡山県玉野市、静岡県東伊豆町、アメリカ合衆国マウント・プレザント市です。

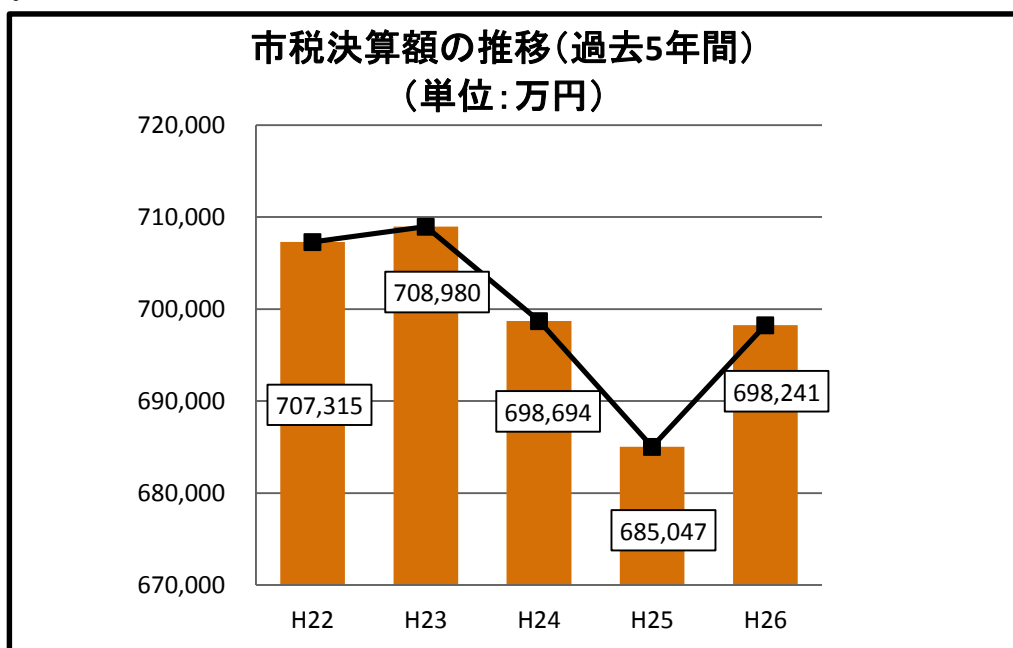
<提携年月日>

群馬県富岡市	(S47.10.15)	岡山県玉野市	(S55.10.1)
静岡県東伊豆町	(S60.3.2)	マウント・プレザント市	(S40.6.14)



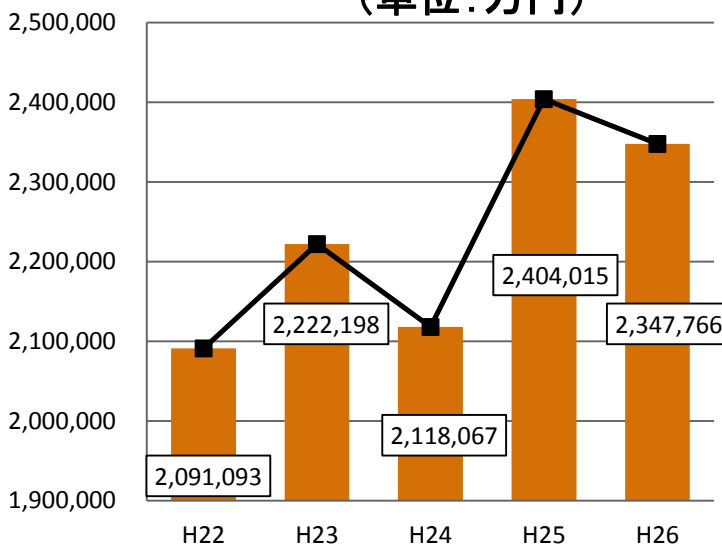


平成28年度の一般会計当初予算は、211億4,800万円で前年度に比べ増加していますが、平成28年度は約2億円程度の市債の借り換えなど、臨時的な経費が含まれていることから、これらの特殊要因を除いた実質的な予算規模では、教育費における学校施設の耐震改修事業や保育園整備事業などに伴い、約4,300万円程度増加しています。

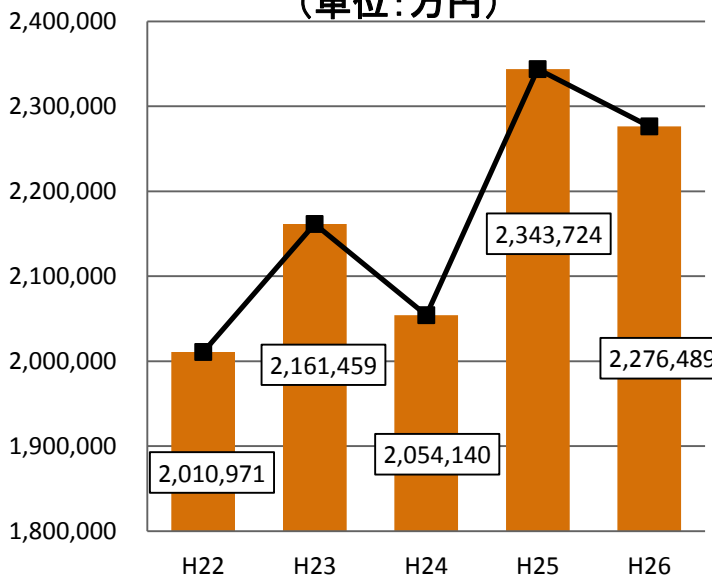


市民のみなさまや事業所などから納められた市税収入の推移です。平成20年度以降についてはリーマンショックの影響により景気は大きく低迷し、その結果、市税収入も大きく落ち込んでいます。平成24年度以降は、収入額が70億円を下回ることとなり、平成26年度は前年度を上回ったものの引き続き厳しい状況となりました。

一般会計歳入決算額の推移(過去5年間) (単位:万円)

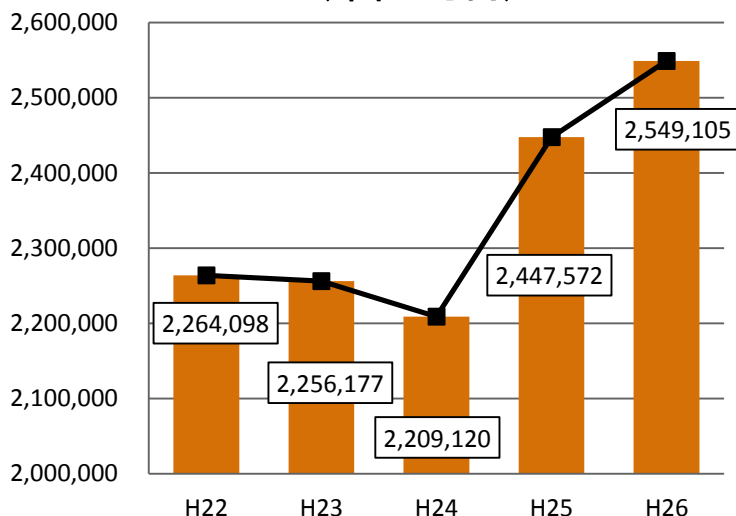


一般会計歳出決算額の推移(過去5年間) (単位:万円)



その年度の市の収入である歳入と、支出である歳出に分けて計画を立てたものが「予算」ですが、年度が終わったあとに、その年度途中の補正予算を含め、どのような収入があって、どのようなことにどのくらいのお金が使われたかを結果として示すものが「決算」です。平成26年度は厳しい財政事情のなか、国・県等の補助制度を有効に活用し、積極的な事業を展開するとともに、財政健全化や有利な財政措置を受けるため、新病院建設事業に対する負担などを行った結果、歳入歳出ともに220億円を超える決算となりました。

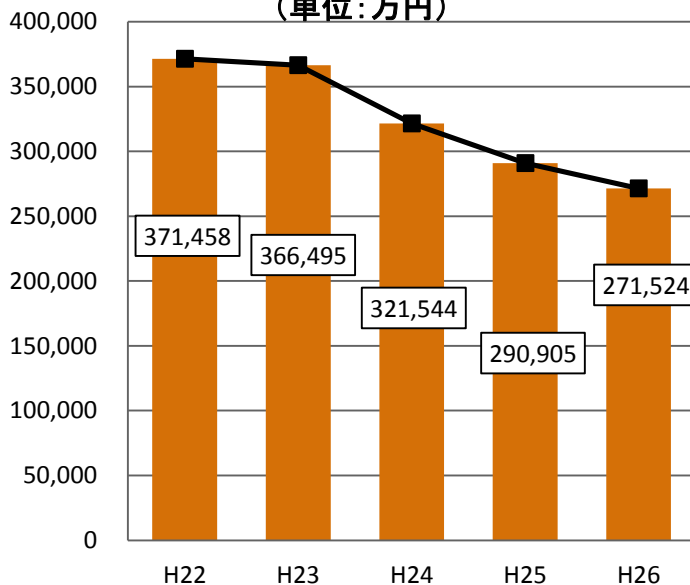
市債残高の推移(過去5年間)
(単位:万円)



市の借金である市債の残高の推移です。

平成25年度は岡谷市土地開発公社の抜本的改革に伴う第三セクター等改革推進債や、病院整備事業出資債などにより、平成26年度においては病院整備事業出資債などにより、現在高は増加していますが、いずれも財政健全化や有利な財政措置を受けるための特例的な借入による影響です。今後も中長期的な財政運営を見据え将来負担の軽減が図られるよう努めます。

基金残高の推移(過去5年間)
(単位:万円)

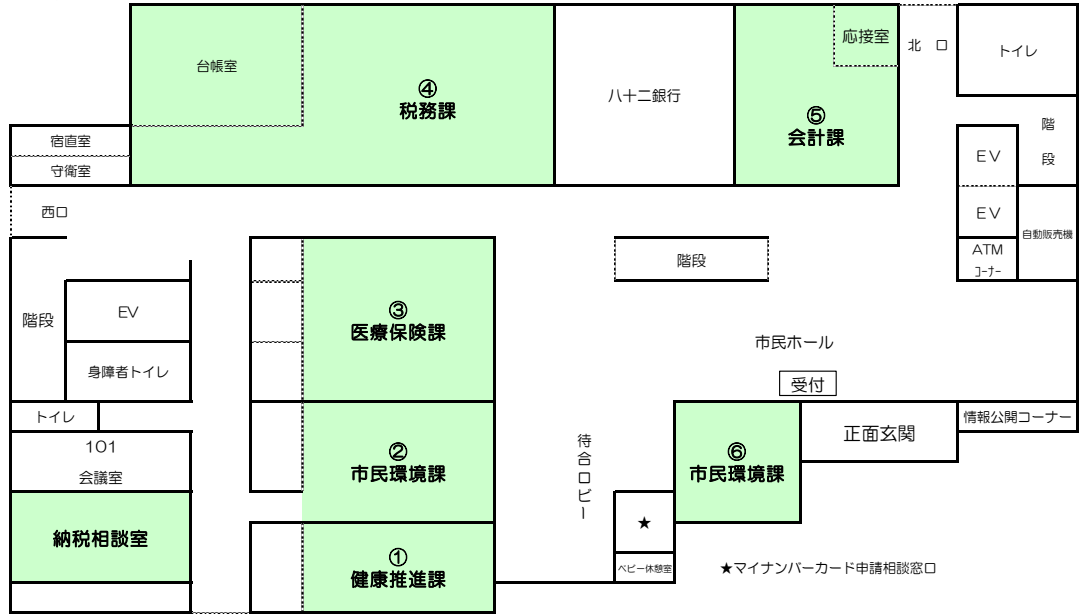


市の貯金である基金の残高の推移です。

大型事業の実施のほか、平成18年度の災害対応などに要する財源不足を補うために取崩しを行ってきました。近年は、景気の低迷などの影響に対応するため、取崩し行った結果、残高が減少し続けています。今後は、基金に頼らない財政構造への転換を図るとともに、基金の積み増しを行っていきます。

組織・窓口のご案内

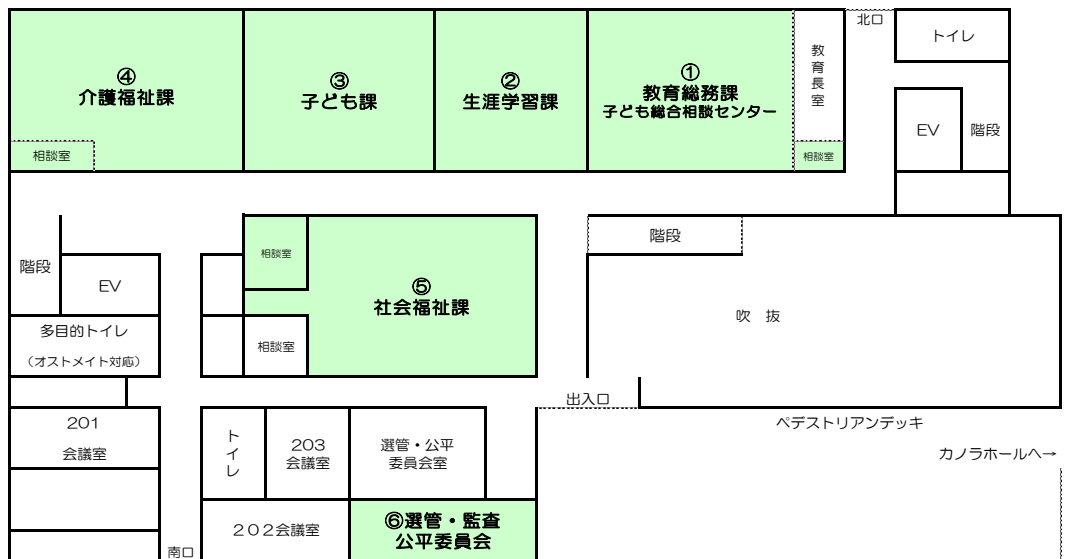
1 階



↓保健センター1階へ

- | | |
|--------|---------------------------------|
| ①健康推進課 | 各種検診・予防接種、健康教育・健康相談、保健指導ほか |
| ②市民環境課 | 戸籍、住民、印鑑の登録・公証、国民年金、安全衛生、内山霊園ほか |
| ③医療保険課 | 国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、福祉医療費の支給 |
| ④税務課 | 市民税・軽自動車税、固定資産税等の賦課・徴収、税の証明ほか |
| ⑤会計課 | 公金の出納・管理、決算の調整ほか |
| ⑥市民環境課 | 清掃事業やごみの収集、廃棄物の資源化、公害、自然保護ほか |

2 階

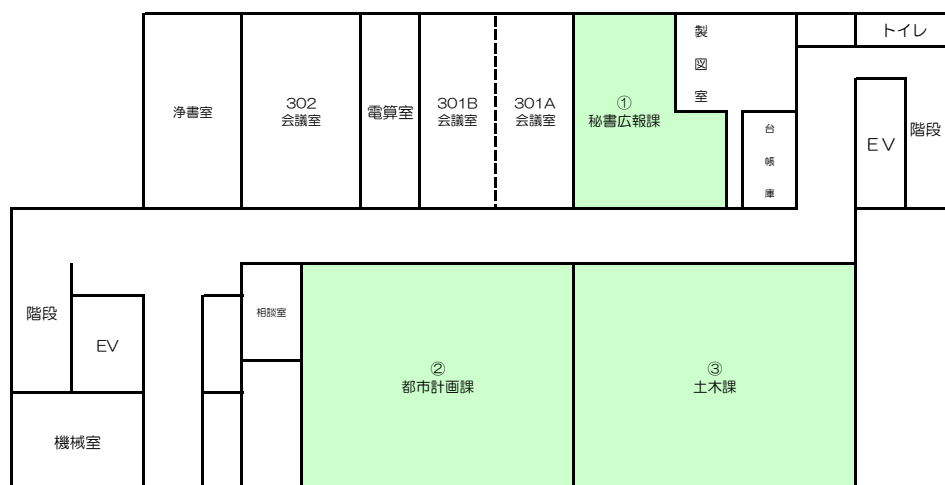


↓保健センター2階へ

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| ①教育総務課 | 教育委員会の施策の企画・調整、小中学校の管理運営、施設整備ほか |
| ②生涯学習課 | 生涯学習の推進、社会教育の振興、学童クラブの管理運営ほか |
| ③子ども課 | 児童手当、家庭児童相談、保育所の運営等、幼稚園に関することほか |
| ④介護福祉課 | 介護保険の申請受付、訪問調査、介護予防ケアマネジメントほか |
| ⑤社会福祉課 | 社会福祉対策、障がい福祉、生活保護、児童扶養手当、諏訪湖ハイツほか |
| ⑥選管・監査公平委員会 | 選挙、市の財務監査、職員に対する不利益処分の審査ほか |

組織・窓口のご案内

3 階



① 秘書広報課

② 都市計画課

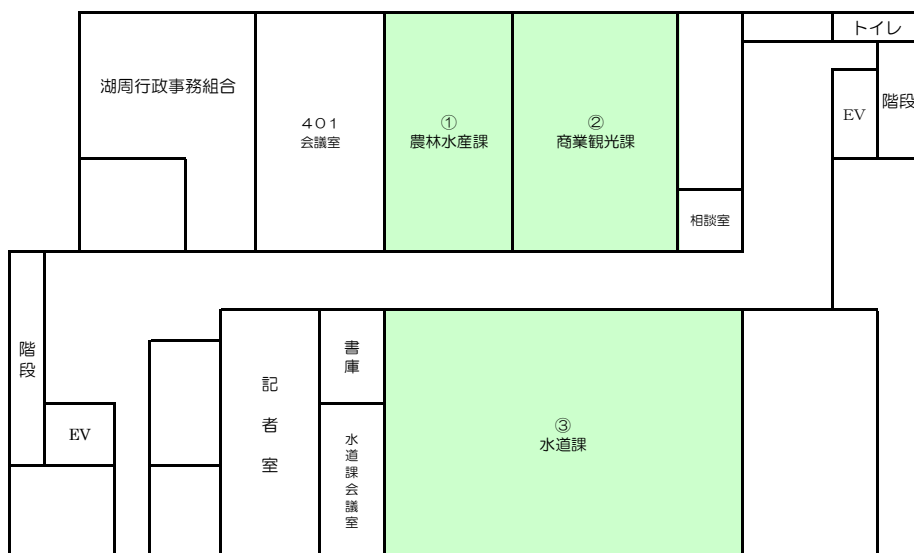
③ 土木課

広報おかやの発行、シルキーチャンネル、区長会、統計調査ほか

都市計画の策定・決定、都市計画街路事業、市営住宅管理ほか

道路、水路等の新設・改良、維持・補修工事、その他除雪業務ほか

4 階



① 農林水産課

② 商業観光課

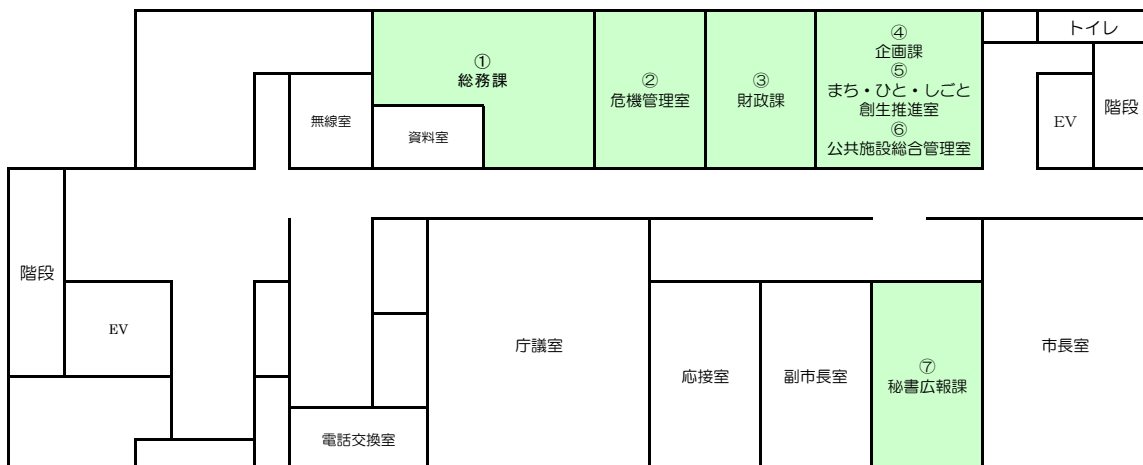
③ 水道課

農林業・水産業の振興、農林業の基盤整備、市有林及び分収林事業ほか

商業・サービス業の支援、シルキーバスなどの運行、観光振興ほか

水道事業、下水道事業、温泉事業の運営ほか

5 階



- ①総務課 市役所庁舎の管理、職員の人事・給与、職員研修に関する業務ほか
 ②危機管理室 防災及び災害対策の総合連絡調整ほか
 ③財政課 予算の編成・執行管理、建設工事等の入札、財産管理ほか
 ④企画課 総合計画、主要事業の企画・調整、総合教育会議、新病院建設、広域行政、行政改革、男女共同参画など
 ⑤まち・ひと・しごと創生推進室 総合戦略の推進・進行管理ほか
 ⑥公共施設総合管理室 公共施設等総合管理計画の策定・進行管理ほか
 ⑦秘書広報課 秘書・渉外業務、褒章、表彰、姉妹都市交流に関する業務ほか

7 階



- ①議会事務局 議会の本会議や各種委員会の運営、会議録の作成等議会に関する業務ほか

その他の出先機関

支所	●湊・川岸・長地に各支所を設け、戸籍・住民票・印鑑証明などの諸証明書の発行、市税や上下水道料金等の収納事務などの業務を行っています。福祉タクシー利用券の販売、温泉メタルの販売、長野県交通災害共済加入の受付も行っていきますのでお気軽にお越しください。 営業時間：午前8時30分～午後5時15分 休日：土曜・日曜・祝日・年末年始（12月29日から1月3日まで）
消防課 （諏訪広域 岡谷消防署内）	●火災予防の推進、消防団の充実や防火・防災協力団体の育成、消防水利、消防施設、消防体制の充実強化に関する業務を行っています。 ●地域を守る消防団員を随時募集しています。お問い合わせは消防課（22-0119）まで。
岡谷駅前出張所	●戸籍・住民票・印鑑証明などの証明書の発行、印鑑登録、戸籍届書の預かり、埋火葬の許可、市税等の収納、福祉タクシー利用券の販売、長野県交通災害共済加入の受付などの業務を行っています。 お気軽にお越しください。 ・営業時間 平日 午前10時～午後7時 土日祝日 午前10時～午後5時 ・定休日 毎週火曜日 年末年始（12月29日から1月3日まで）
工業振興課	●産業施策の全般を担当する「産業政策担当」と、工業の振興を担当する「工業支援担当」、雇用対策や人材活用の支援を担当する「雇用対策担当」に見直しました。産業政策担当は、工業等の活性化・高度化・近代化支援や企業誘致、移住促進などを行い、工業支援担当は、中小企業の技術振興対策、産学官金連携の推進、中小企業金融対策、受注機会の確保などを行います。また、雇用対策担当は、雇用促進対策、人材の育成、勤労者福祉の充実などを行います。 ●テクノプラザおかや 工業振興の拠点施設として、各種相談業務等を行っています。 開館時間 平日：午前8時30分～午後9時30分 土日：午前8時30分～午後5時30分 休館日 国民の休日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）
スポーツ振興課	●生涯を通じて学び、豊かな心を育むまちの実現に向けて、スポーツの普及や指導に関すること、各種スポーツ大会の計画や運営、市民の体力づくりに関する業務を行っています。 ●関係施設 市民総合体育館、庭球場、水泳プール、市営岡谷球場、川岸スポーツ広場、湖畔広場、やまびこ国際スケートセンター
冬季国体推進室	●平成29年1月にやまびこスケートの森アイスアリーナで開催される、第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会の開催に関する業務を行います。
市立岡谷図書館	●図書及び視聴覚等の資料を収集、整備、保存して、幼児から成人に至るまで広く市民の利用に供し、その文化、教養、娯楽、調査研究、情報等の要求に資するとともに、諏訪地域図書館情報ネットワークシステムを活用する等、他機関との連携を密にしながら、市民の生涯学習の拠点としての図書館サービスの向上に努めています。 開館時間：午前10時～午後7時 休館日：毎週月曜日、国民の祝日の翌日、毎月最終の金曜日、年末年始（12月29日から1月3日まで）、蔵書整理期間

岡谷蚕糸博物館 (シルクファクト おかや) ブランド推進室	●岡谷蚕糸博物館は、(独)農業生物資源研究所生活資源開発ユニットの旧施設を改装し、平成26年8月1日に移転、リニューアルオープンしました。館内に(株)宮坂製糸所を併設し、博物館の愛称を工場の(factory)のイメージとシルクの真実(fact)を伝えたいという意味を込め「シルクファクトおかや」とし、シルクの世界を五感で感じることでできる世界的にも類まれな博物館として生まれ変わりました。先人の成し遂げた偉業に学ぶ、ものづくり精神と新たなシルク文化を発信していきます。 【開館時間】 午前9時～午後5時 ※宮坂製糸所、まゆちゃん工房 午前9時～正午、午後1時～午後4時 【休館日】 毎週水曜日、国民の祝日の翌日 年末年始(12月29日から1月3日まで) ●ブランド推進室は、岡谷ブランドの拠点施設となる蚕糸博物館を中心に、さまざまな地域資源を活用したまちづくりを推進しています。また、武井武雄作品を岡谷ブランドとして活かし、「童画のまち岡谷」のPRに積極的に取り組んでいます。
岡谷美術考古館	●美術考古館には、郷土作家の絵画、彫刻、工芸、書などの展示や考古資料として市内各所から出土した縄文時代から古墳時代に至るまでの土器・石器などを展示しています。 昭和45年に市立岡谷蚕糸博物館に併設して誕生し、その後40有余年、多くのみなさまにご利用いただきましたが、郷土に根ざす美術考古館として、平成25年11月童画館通りに移転オープンし、「文化を核にしたまちづくり」を推進しています。 【開館時間】 午前10時～午後7時 【休館日】 毎週水曜日、国民の祝日の翌日 年末年始(12月29日から1月3日まで)
公民館	●主に青少年及び成人に対して行われる体育及びレクリエーション活動などの組織的な教育活動の場として、湊、川岸、長地に公民館を設置しています。 【開館時間】 平日 午前8時30分～午後9時30分 土日 午前8時30分～午後5時 【休館日】 国民の祝日及び年末年始(12月29日から1月3日まで)
生涯学習活動 センター	●生涯学習館(カルチャーセンター) 【対象者】 多くの方が集い、ふれあい、学びあうための場として、あらかじめ登録していただいた様々な団体にお貸ししています。また、時宜に応じたテーマで、学級、講座を企画実施しています。 【料金】 お貸しする部屋の大きさなどで異なります。 【開館時間】 午前9時～午後9時30分 【休館日】 毎月第2火曜日及び年末年始(12月29日から1月3日まで) ●子育て支援館(こどものくに) 【対象者】 0歳～3歳を中心とした子どもとその保護者、子育て中の方。 【料金】 年に1回の利用者登録時に200円。 登録後は無料でご利用いただけます。 【開館時間】 午前9時30分～午後5時30分 【休館日】 毎月第2火曜日及び年末年始(12月29日から1月3日まで)
看護専門学校	●地域医療や福祉の維持向上のため、平成26年度から全日制2年課程の看護専門学校として運営をしています。 【授業時間】 午前9時～午後4時25分(月～金)/臨地実習 【修業年限】 全日制2年、【定員】 1学年30名 【受験資格】 准看護師の免許を受けた者で、 ① 中学校を卒業し、3年以上看護業務に従事している者 ② 高校を卒業又は高校を卒業している者と同等以上の学力があると認められている者



組織・窓口のご案内

岡谷市関係施設一覧表

名称	電話番号	住所	名称	電話番号	住所
岡谷市役所	23-4811	幸町8-1	小口保育園	22-2489	銀座1-4-18
岡谷市保健センター			今井保育園	22-2935	長地6189-1
湊支所・公民館	22-2300	湊3-8-6	あやめ保育園	22-2680	湖畔1-10-3
川岸支所・公民館	23-2200	川岸中3-1-29	川岸保育園	22-3829	川岸中2-7-14
長地支所・公民館	27-8080	長地柴宮2-15-26	夏明保育園	22-3861	川岸西1-18-16
岡谷駅前出張所	21-7110	中央町1-1-1	成田保育園	22-2464	成田町2-10-6
諏訪広域消防岡谷消防署	22-0119	加茂町1-2-6	みなと保育園	22-3566	湊3-6-50
岡谷市民病院	23-8000	本町4-11-33	長地保育園	27-4194	長地鎮1-7-29
看護専門学校	23-5030	2413-1	若草保育園	22-4038	加茂町3-8-28
湖北火葬場「湖風苑」	22-2014	長地片間町1-5-28	西堀保育園	22-7670	堀ノ内1-6-4
内山霊園	22-2272	4769-205	東堀保育園	27-9366	長地御所2-3-1
勤労青少年ホーム	23-2201	田中町3-7-28	神明保育園	22-4555	神明町4-4-11
勤労会館			横川保育園	28-1180	長地出早3-4-16
塩嶺閣	22-3724	1723-79	つるみね保育園	22-2911	川岸上3-14-13
図書館	22-2031	本町4-1-39	神明小学校	22-2243	神明町1-9-40
岡谷蚕糸博物館	23-3489	郷田1-4-8	小井川小学校	22-2234	東銀座1-1-4
ブランド推進室			岡谷田中小学校	22-2425	田中町3-5-17
岡谷美術考古館	22-5854	中央町1-9-8	湊小学校	22-2728	湊3-6-1
旧林家住宅	22-2330	御倉町2-20	川岸小学校	22-2663	川岸中1-1-2
旧渡辺家住宅	26-7545	長地柴宮3-8-40	長地小学校	27-8792	長地源1-1-3
塩嶺野外活動センター	23-8028	10016-1	上の原小学校	28-1187	長地出早2-6-1
市民総合体育館(スポーツ振興課・冬季国体推進室・水泳プール・庭球場)			岡谷北部中学校	22-3203	赤羽2-1-24
	22-8800	南宮3-2-1	岡谷南部中学校	22-3243	湊2-1-8
市営岡谷球場	22-2893	神明町1-1-1	岡谷東部中学校	27-8644	長地柴宮1-9-13
鳥居平やまびこ公園	22-6313	4769-14	岡谷西部中学校	22-3461	川岸中1-1-1
やまびこ国際スケートセンター	24-5210		生涯学習活動センター		中央町1-11-1
カノラホール	24-1300	幸町8-1	子育て支援館こどものくに	24-8403	
ロマネット	27-6080	長地権現町4-1-24	生涯学習館	24-8404	
イルフ童画館	24-3319	中央町2-2-1	まゆみ園	22-1307	郷田2-1-55
テクノプラザおかや	21-7000	本町1-1-1	駅前自家用車整理場	24-5258	本町1-1
工業振興課			駅前広場自転車駐車場		本町1-3
太鼓道場	22-6663	成田町1-8-25	湖北衛生センター	41-2322	辰野町大字辰野2520
諏訪湖ハイツ	24-2290	長地権現町4-11-50			



おかげさまで、岡谷市は市制施行８０周年を迎えます。



作成：岡谷市総務部財政課

ご意見等ありましたら、お寄せください。

電 話 0266-23-4811

F A X 0266-24-0689

E-mail zaisei@city.okaya.lg.jp